

令和3年10月5日

所 属	いくしあ推進課
所属長	川村 真紀
電 話	06-6423-9995

子どもの育ち支援センター「いくしあシンポジウム」を開催します ひきこもりミライ会議～不登校・ひきこもり等困難を抱える若者支援をアップデートする～

尼崎市は、子どもの育ち支援センター「いくしあ」で主に取り組んでいる、児童虐待や発達の問題、不登校・ひきこもりの中から、不登校・ひきこもりの課題にスポットを当て、10月16日(土)「いくしあシンポジウム」を開催します。

令和元年10月1日の開設以来、「いくしあ」では、日々の暮らしで課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、子どもの成長段階に応じて、切れ目のない総合的な支援を続けてきました。

今後も、子育てをする中で、少しでも心配事や悩みができたときに、迷わず「いくしあ」に相談していただけるよう、シンポジウム開催をはじめとした情報発信に努めることで施設の周知を図っていきます。

1 いくしあシンポジウム

▼開催日時

10月16日(土)午前10時から正午まで

▼実施形式

ビデオ会議サービス「Zoom」を利用したオンライン開催

▼主な内容

(1) いくしあの取り組み紹介

尼崎市子どもの育ち支援センター 所長 木崎 貴則

(2) 基調講演

テーマ：「不安や困難を抱える若者への支援」

講演者：認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス (S.S.F.)

代表理事 谷口 仁史 氏

(3) パネルディスカッション

テーマ：不安や困難を抱える若者への支援～「あまがさき」の「今」の支援と「これから」の支援について～

(パネリスト)

特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事 谷口 仁史 氏

尼崎市こども相談支援課 仲谷 太宏 (令和2年度S.S.F.へ研修派遣)

尼崎市こども相談支援課 後藤 佑香 (令和2年度S.S.F.へ研修派遣)

特定非営利活動法人み・らいず2 榎谷 礼路氏（ユース相談支援事業受託事業者相談支援員）

▼定員

先着 80 人。

10 月 13 日までに市公式ホームページにある専用フォームにて事前申し込みが必要。

▼費用

無料。

2 臨時電話相談

いくしあシンポジウムの開催に合わせ、臨時電話相談を実施します。

(1) 子ども・子育て臨時電話相談

子育ての不安や子どもの発達に関する悩みなどについて、専門の相談員が話を伺い、一緒に考え情報提供や助言をします。

▼日 時

令和 3 年 10 月 16 日（土） 午前 9 時から午後 3 時まで

▼受付電話番号

06-6430-9989

(2) ユース相談臨時ダイヤル

外に出ることがしんどい状態やそれに近い状態にあるご本人（中学 3 年生からおおむね 2 9 歳まで）やご家族を対象にした相談を受け付けています。

長期休暇が終わったタイミングや卒業、進学、就職の時期は、将来のことを考えて不安になったり、社会との関わりがしんどく感じることもあるかもしれません。

そんな不安な気持ちを専門の相談員が受け止め、これからのことを一緒に考えます。

▼日 時

令和 3 年 10 月 16 日（土） 午前 9 時から午後 3 時まで

▼受付電話番号

06-6423-8560

3 資料（別添）

・いくしあシンポジウムチラシ

以 上

いくしあシンポジウム

～不登校・ひきこもり等困難を抱える

若者支援をアップデートする～

ミニ
ライブ
会議

ひ
き
こ
も
り

10/16(土)

午前 10 時～12 時

on ZOOM

参加無料

申込裏面

基調講演

「不安や困難を抱える若者への支援～S.S.F.の取り組み～」

認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス

代表理事 谷口 仁史 氏

佐賀大学文化教育学部卒業。在学中からボランティアで不登校、ニート等の状態にある子ども・若者へのアウトリーチ(訪問支援)に取り組む。卒業後、大学教授ら有志を募り「NPO スチューデント・サポート・フェイス(略称 S.S.F.)」を設立。令和3年3月末日現在、委託事業を含む約50万1千件の相談活動、約4万6千件のアウトリーチに携わったほか、市民活動団体を含む幅広い支援機関とのネットワークの構築や「職親制度」等社会的受け皿の創出、執筆や講演活動など多彩な活動を通じて、社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立を目指している。



パネルディスカッション

パネリストとして、昨年度 S.S.F.に研修派遣された本市こども相談支援課の職員2名と、本市のひきこもり支援事業であるユース相談支援事業の受託者である特定非営利活動法人み・らいず2の相談員を迎え、谷口氏とともに、不安や困難を抱える若者への「あまがさき」の「今」の支援と「これから」の支援についてディスカッションします。

シンポジウム申込方法

【申込期間】令和3年10月5日（火）午前9時から10月13日（水）17時30分まで

【申込方法】二次元コードまたは市ホームページから申込み専用フォームにアクセスしてお申込みください。

お申込みいただいた方に、後日「ZOOM」アクセス方法等を記載したメールをお送りします。（定員80名）

URL https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si_kangae/kodomo_sesaku/1007976.html

【注意事項】本講演会はWEB会議システム「ZOOM」を使用したオンラインイベントです。

インターネットが繋がる環境で、事前に「ZOOM」アプリをダウンロードしたパソコン、スマートフォン、タブレット等からご覧ください。

【問合せ先】尼崎市子どもの育ち支援センター いくしあ推進課

電話 06-6423-9995 メール ama-kodomonosodachi@city.amagasaki.hyogo.jp

申込み専用フォーム
二次元コード



いくしあシンポジウムの開催にあわせて、いくしあでは臨時相談をお受けします。

身近な子育て相談から専門的な相談まで、幅広い相談をお受けします。



子ども・子育て臨時電話相談

「子どもの発達に不安があるんですが・・・。」

「子育てのことで聞きたいことがあるんですが・・・。」

「こんなことはどこに聞けばいいの?」

そんな子ども・子育てに関する悩みを抱えていませんか?

専門の相談員がお話を伺い、一緒に考え情報提供や助言

をしています。どんな些細なことでも結構です。

あなたのお電話お待ちしております。

☎ **06-6430-9989**

10月16日（土）9:00 から 15:00



ユース相談臨時ダイヤル

ひきこもりで悩んでいませんか?

あなたのお困りごとを聞かせてください。

外に出ることがしんどい状態やそれに近い状態にあるご本人（中学3年生からおおむね29歳まで）やご家族を対象にした相談支援事業を行っています。

長期休暇が終わったタイミングや卒業、進学、就職の時期は、将来のことを考えて不安になったり、社会との関わりがしんどく感じることもあるかもしれません。

将来のことが不安

外に出るのが不安

学校に行くのがつらい

家族以外との交流が憂鬱



そんな不安な気持ちを専門の相談員が受け止め、これからのことを一緒に考えます。

【支援内容】

- ・専門相談員による相談支援や訪問支援を行います。
- ・一人ひとりの状態に応じた支援を行います。
- ・ご家族の相談もお受けいたします。

詳しくは市HPへ



まずは気軽にお電話ください。

☎ **06-6423-8560**

10月16日（土）9:00 から 15:00

「ほっとすてっぷ」ってこんなトコロ

【教育支援室「ほっとすてっぷ」紹介動画】

配信期間：10月16日（土）から23日（土）

閲覧方法：下記URLまたは尼崎市公式HPより下記ページ番号を検索してご覧ください。

URL <https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/school/consult/1018933.html>

ページ番号 1018933

問合せ先：こども教育支援課 06-6409-4995

こちらからどうぞ

